



# 南関中スピリッツ

「自分の限界に挑戦！チャレンジ南関中」

南関中学校学校便り

自主 創造 友愛

NO. 8 (文責 永杉尚久)

## 夏休みを迎えて

4月から約4ヶ月間「自分の限界に挑戦し、最後までやり切る姿」をめざして過ごしてきました。生徒の皆さんは、それぞれふり返ってどうだったでしょうか。私なりに良かったところとこれからの課題をいくつか述べてみたいと思います。

まず良かったところ、1つ目は体育大会です。本番に向けて心一つにして全力で練習に取り組む姿が目に見えています。9月に延期になりましたが、もう一度心を奮い立たせて欲しいと願っています。

2つ目は、授業や掃除に向かう姿勢です。静かに集中して取り組んでいました。集中して1つのことに没頭する時間があることはとても大切なことです。

3つ目は、あいさつの様子です。とても気持ちの良いあいさつが交わされています。来校されたお客様や登下校ですれ違う地域の方から「南関中の生徒のあいさつは素晴らしい」と評価されています。

更に高まっていくために、挑戦して欲しい課題もあります。

1つ目は自分に自信を持って積極的、主体的に取り組んで欲しいことです。まずは、授業中に大きな声で発表できるということです。

2つ目は、仲間のことを考えた言動をさらに心がけて欲しいことです。自分の限界に挑戦するためには支え合う仲間がとても大切です。

さて、明日から37日間の夏休みになります。この夏休みを生徒の皆さんにとって**「成長する夏」**にして欲しいと思います。部活動や学習会などで登校する人もいますが、基本的には家庭や地域で過ごすこととなります。時間の使い方は、自分に任されています。1日をしっかりと自分でコーディネートして欲しいと思います。ただし、家族や地域の中で過ごす時間や一人でゆったりとする時間も必要でしょう。そのことも含めてメリハリのある1日を送って欲しいと思います。いろいろな経験や人との出会い、出来事に触れて自分を高めてきてください。

夏休み明けの8月27日は、皆さんの成長が感じられる1日であることを期待しています。

## 今日の論語

子曰く、「益者三友あり。直きを友とし、諒を友とし、多聞を友とするは、益なり。」と。

先生は言われた、「良き友には三つある。正直であること、誠実であること、博識(いろんなこと)を知っているであること。」

友達のあり方は様々にあると思います。自分の悩みや思いをじっくりと聞いてくれる友達。くじけそうになる自分を励まし、背中を押してくれる友達。ライバルや目標として存在する友達。側にいてくれるだけで安心できる友達。

友だちにとって自分はどうなのか、気を使う必要は無いかもしれませんが、友としてこうありたいです。

## 南関町喜ばせ隊 活動開始

本年度も、南関中生徒でボランティアの組織を作り、南関町の人たちに喜んでもらうことを一番の目的に、自分たちも元気になる活動を始めました。現在、一六名の生徒たちが隊員になり、独り暮らしの高齢者の方々に暑中見舞いのお手伝いを作成したり、町のイベントのお手伝いを行ったりしています。夏休み中には、小学生のひまわり教室のスタッフも経験する予定です。無理をせず、できる範囲で取り組んでいきます。また、喜ばせ隊は、いつでも加入できます。



七月一八日、子ども会球技大会に7名の生徒が運営のお手伝いをしました。